

令和6年度第1回（第58回）栗東歴史民俗博物館協議会の概要

開催日時 令和6年10月18日（金曜日）13時30分から15時15分まで

開催場所 栗東歴史民俗博物館 会議室

出席者

協議会委員 大西 洋子（会長）、奥野 初恵（副会長）、
宇野 日出生、大橋 信弥、國賀 由美子、鈴木 元彦、高 宮 弘、
西尾 悦子、林 優 里 の各委員（9名）

事務局 今井 義尚（教育長）
太田 吉明（教育部長）
赤井 信司（スポーツ・文化振興課 課長）
大西 稔子（歴史民俗博物館 館長）
中川 敦之（歴史民俗博物館 係長 ・ 学芸員）
木 村 毅（歴史民俗博物館 再任用）

欠席者 川那部 隆徳 委員

傍聴者 0名

概要

1. 開会

2. 協議事項

- ①令和6年度上半期の博物館事業について（報告）
- ②令和6年度下半期の博物館事業について
- ③令和6年度第2回（第59回）栗東歴史民俗博物館協議会の日程について
- ④その他

3. 連絡事項

4. 閉会

議事

1. 開 会

開会の挨拶（大西 洋子 会長）
開会の挨拶（今井 義尚 教育長）
挨拶と報告（大西 稔子 館長）
事務局職員の紹介

→ 今井 義尚 教育長 退出

2. 協議事項

①令和 6 年度上半期の博物館事業について（報告）

資料に沿って、事務局（係長）より説明。

（A 委 員） 説明では、資料修復について触れられていなかったが、実施していないということか。本来、博物館が実施すべき事業で、歴史民俗博物館でもかつては実施して行っていたように思うが。

（館 長） 厳しい財政状況の下、近年は実施できておらず、令和 6 年度も予算措置は講じられていない。令和 7 年度には予算を確保し、年次的に実施していけるようにしたい。

（A 委 員） 直ちに修復が必要な資料はない、ということか。

（館 長） 差し迫って修復が必要な資料はない。一括して収蔵している絵画作品について、以前のように年次的に修復を行えるようにしたい。

（A 委 員） 民間事業者の助成金等、外部資金の獲得も検討していただきたい。

（部 長） 企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等も活用し、財源の確保に努めたい。

（B 委 員） 埋蔵文化財への関心は高い。展覧会とは別に、講座のみを開催しても集客につながる。

（会 長） 6 月 2 日（日曜日）に音楽振興会（RISS）が開催した「RISS ミュージアム ロビーコンサート 48」について、事務局からは「多くの来場者があった」と説明があったが、補足したい。300 人という来場者数は予想外であったが、危険な状況を作り出してしまったと反省してる。危機管理意識が不足していたと感じている。来館者が展示室に行けない、展示を見学できない状態であり、駐車場の整理では隣の市立図書館にも迷惑をかけることとなってしまう、申し訳なかった。

②令和 6 年度下半期の博物館事業について

資料に沿って、事務局（係長）より説明。

（C 委 員） 収蔵品展「山水画の世界」について、どういう作品を展示するのか。

- (館 長) 江戸時代の栗東、目川立場(栗東市岡)で活動した岡笠山の作品が主となる。
- (C 委 員) 山水画では分かりにくいので、岡笠山をPRしてはどうか。また、外部からの借用は考えていないのか。
- (D 委 員) 現在、準備を進めているところとは思いますが、こういった意図の展覧会なのか。
- (館 長) 収蔵品の中から、名品を展示したい。今回は、外部からの借用の予定はないが、今後、そういった展覧会も考えたい。また、先ほどA委員からご指摘のあった資料修復について、館では実施できていないが、岡笠山の作品には、所蔵者の方により修復が行われたものもあることから、あわせて展示したい。
- (D 委 員) 岡地先では、目川田楽を提供する飲食店(ほっこり庵)が再開し、観光の部門と連携されている。歴史民俗博物館でも連携しては。
- (館 長) ほっこり庵がメディアに取り上げられる際に、資料の紹介等で歴史民俗博物館も協力した。これからも連携していきたい。
- (A 委 員) 収蔵品展「山水画の世界」について、資料の保存の観点から、公開期間について留意して欲しい。
- (館 長) 前期・後期で入れ替えるようにしたい。
- (E 委 員) 岡笠山の展覧会は、開館当初にもあった。多くの資料があると思うので、入れ替えながら紹介しては。
- (F 委 員) 博物館の活動の主軸は展覧会であるが、歴史民俗博物館の小地域展シリーズは、特筆すべきものと思う。簡易なものでも良いので、紙媒体の解説を作成してはどうか。
- 博物館でのコンサートの開催については様々な考えた方があるが、展示室への導線の確保、展覧会見学者への配慮等が必要である。
- ほっこり庵については、草津の古文書学習会での街道探訪で訪問したが、充実した料理を提供されている。歴史民俗博物館でも街道探訪等を企画し、訪れても良いのでは。
- (B 委 員) 図録は、展覧会の記録として先々まで役に立つ。簡易なものを廉価に作る方法もある。
- (館 長) 図録やパンフレットについては、印刷製本には至らなくても、記録に残すという意味からも作っていただければと思う。
- 街道の関係では、令和5年度に、スポーツ・文化振興課(文化財保護係)主催のシンポジウムが歴史民俗博物館を会場に開催され、県内の東海道沿いの自治体の文化財担当者や学芸員が登壇した。今後の展開についても協議を進めており、連携していきたい。
- (D 委 員) 広報の面で苦労も多いと思うが、市の公式LINEの運用も始まっており、

活用してはどうか。また、大学生による取材・PRも、行政であれば連携しやすいのではないかと。

(館 長) 市の公式LINEでの発信は、歴史民俗博物館からも行っていきたい。大学生による取材・PRについては、具体的な大学があるのか等、ご教示いただければありがたい。

(C 委 員) 10月15日(火曜日)から18日(金曜日)までの4日間、老人福祉センター ゆうあいの家 で実施された「まちづくり出前トーク」は、どのような内容か。

(係 長) ゆうあいの家 の事業の1つとして、巡回バスで通って来られる利用者向けに開催された歴史講座に招かれた。各日の参加者が、葉山・金勝・治田・大宝の各地区に分けられていたので、共通の話題の他、地区ごとの話題で講話した。

(G 委 員) 市民学芸員の会の活動について、阿弥陀寺(東坂)を開いた隆堯法印の著作(『称名念仏奇特現証集』)の輪読が終わり、現在は『東海道名所図会』を読み進めている。

(会 長) ロビーコンサートについては、博物館で音を出すことと、展覧会を観覧する環境を両立させることの難しさはあるが、いろいろな分野に関心がある方が歴史民俗博物館に来館されるきっかけになればという思いから始まった事業である。

2点伺いたい。

まず、RISS ミュージアムロビーコンサートについて、歴史民俗博物館のホームページに載っていない、とおっしゃる方があったが、どうなのか。また、冒頭に館長より、来年度に学芸員の採用を予定しているとの報告があった。この協議会でも、長年議論してきたことの成果でもあるかと思うが、この協議会のような場で交わされた議論や出された意見は、どのように扱われるものなのか。予算等に反映されているのか、実行されているのかが見えにくいと感じる。

(部 長) 例えば施設の老朽化への対応でも、多くの公共施設が同じ課題を抱えている中、優先順位をつけて財源を充てることになり、実施できる取り組みにも限りがある。必要なものに必要な予算を講じる中で、企業版ふるさと納税やクラウドファンディング等も活用し、財源を確保することが求められている。

広報に関しては、各自の興味に合わせた情報を発信していくような流れがあり、各所属で事業のPRを行っている。

(係 長) RISS ミュージアムロビーコンサートに限らず、歴史民俗博物館で開催される貸し館事業についても、歴史民俗博物館のホームページに載せている。11月3日(祝日)開催のRISS ミュージアムロビーコンサートについては、

まだチラシを受け取っていないので載せられていないが、頂ければすぐに掲載したい。

また、PRについては、広報課より、歴史民俗博物館を紹介するYouTube動画を作成したいという提案があった。他課・他施設で作成した事例もあるとのことなので、協議を進めたい。

(館 長) 各事業については、『広報りっとう』の「お知らせ版」もあるので、ご覧いただければと思う。

(副 会 長) 移築民家旧中島家住宅に展示されている民具は更新しないのか。歴史民俗博物館に民具の寄贈を申し出たが断られたと聞いたことがある。

(館 長) 更新も検討したいが、点数を増やすことはない。既に収蔵している民具のご寄贈については、お持ちの民具がこういった資料であるかを解説するとともに、収蔵スペースに限りがあること等を説明した上で、お断りしている。一方で、アオバナやカイコに関連する資料は探索しており、情報をお持ちであればご一報いただきたい旨もお伝えしている。

(副 会 長) 時間の経過とともに必要なくなった民具の処分に困っている方は多い。以前には小学校の授業で、地域の高齢者が子どもに説明をしていたが、最近はそのような機会が減ってきた。

(館 長) そのご指摘については、小学校のカリキュラムで、以前は「昔のくらし」を学ぶことになっていた単元が、「市のようすのうつりかわり」を学ぶ単元が変わったことの影響ではないか。栗東は、うつりかわりを説明しやすいまちであり、歴史民俗博物館でも、移築民家旧中島家住宅を用い、学習機会の充実を図っていきたい。

(D 委 員) 説明を聞いていて、広報やPR活動にも取り組んでおられると感じた。次回以降、資料に盛り込んではいかがか。

③令和6年度第2回(第59回)栗東歴史民俗博物館協議会の日程について

事務局よりいくつかの候補日を提示し、委員間での協議の結果、

・令和6年1月24日(金曜日)13時30分開会
に決定した。

④その他 特になし

3. 連絡事項 特になし

4. 閉 会

閉会の挨拶(奥野 初恵 副会長)

閉会の挨拶(太田 吉明 教育部長)